

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		地産地消推進事業		担当部署	経済建設部 経済局 農林水産課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	食育基本法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業 期間	開始	平成 19 年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		農林水産業				
施策	3	農業の振興				
基本事業	2	農業の高度化				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	新鮮かつ安全、安心な鳴門市内でとれた農水産物を販売する場所や環境の整備を図るとともに、学校給食などにおいて地元食材の利用促進を図ることにより、市民1人ひとりが食の大切さを見直し、心身の健康を守り、人生を豊に生きることができる人を育ぐむことを目的とする。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	新鮮かつ安全、安心な市内農水産物を販売する場所や利用を促すための環境整備を図ることで、地元食材の市内での流通拡大による地産地消を推進する。市場祭り等公設市場での定期的な直売を支援する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		食育・産直・地産地消イベント来場者数	21,000	21,000	23,000	23,000	23,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴門ウチノ海新鮮市、農水産物フェア等の産直市や食のワークショップ等に関係機関等と連携して取り組み、地元食材を題材に食について考える機会を設け、地元食材の利用促進と食育を推進した。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	食育・産直・地産地消イベント開催回数	13	14	12	12	12	回
	2							
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標		食育・産直・地産地消イベント来場者数	12,800	9,370	—	—	—	人
		目標達成率(実績/目標)		44.6	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況		遅れている				

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	300	300
		全体予算額	0	0	0	0	300	300
		決算額	0	0	0	0	214	214
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.3	0.0		2,058		2,272	

【事務事業名：地産地消推進事業】  
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	214	214	300	300	300
	うち一般財源	214	214	300	300	300
	人件費	652	2,058	686	686	686
	総事業費	866	2,272	986	986	986

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		市民一人ひとりが、地元食材や食の大切さを見直し、豊かな生活を送ることに貢献している。
	効率性	C:あまり効率的でなかった		産直イベントへの支援方法、関わり方については継続性の観点から検討する必要がある。
②成果に対する評価	指標名	食育・産直・地産地消イベント来場者数		イベント入場者数については、流動的であるが、新たな魅力の創出等により賑わいの確保を図ることが求められている。
	目標	21,000	人	
	実績	9,370	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		C		食育については、関係部課連携による取り組みが進められているが、地元食材の利用促進を目指した産直については十分な進展が無い状況であった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	事業拡大のためには、関係機関及び生産者の連携、さらなる参画が必要不可欠である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	鳴門ウチノ海新鮮市については、生産者が自立的に取り組むことが可能となるよう、支援方法等を検討していく。平成22年度に策定した食育基本計画の進捗管理については、各関係部課の連携による効率化を図りながら推進する。			
	平成29年度	鳴門ウチノ海新鮮市については、生産者が自立的に取り組むことが可能となるよう、支援方法等を検討していく。平成22年度に策定した食育基本計画の進捗管理については、各関係部課の連携による効率化を図りながら推進する。			